

「9・15」第二目黒の日・目黒宝寿会の日

～1992年9月15日 池田先生・奥様 目黒平和会館ご来館～

1992年（平成4年）9月15日午後3時半ごろ、池田先生・奥様が、神奈川指導から学会本部への帰途、7月に落成したばかりの目黒平和会館を訪問してくださいました。

前日14日に聖教新聞1面トップで、現・目黒国際文化会館建設のニュースが大きく報道されたばかりの連続的な大激励でした。

ご訪問時は、宝寿会の会合が終わった直後であり、また東山支部、山手支部（当時）の支部総会の打合せ等もあり、100名以上の方が会館に居合わせ、突然の先生・奥様のご来館に大歓喜に湧きました。

先生は、ロビーで宝寿会の方に「いい顔しているね」と暖かく声をかけられ、その後、全員と厳粛に勤行。終了後には懇談的に指導。目黒平和会館への車中で詠まれたお歌三首を紹介して下さいました（別掲）。

平成四年九月十五日	思い出の 歴史も多き 目黒にて 恩師もほほえむ 宝石城かな	常楽の 友を 迎えむ 恩師まで 嬉しく にぎわう 目黒城かな	新しき 世紀の人をば つくらむと 行学 楽しく 不滅の城かな
-----------	-------------------------------------------	--------------------------------------------	--------------------------------------------

※後日、御歌の揮毫を認められ、目黒に贈っていただきました。

さらに、「目黒は私の新婚時代にお世話になったところだから」「私は人の10倍行動している。1日を1カ月分の思いで戦ってきた」と心情を話され、「**題目を朗々と**」「**近隣と仲良い付き合いを**」「**新しい友人をどんどん作っていきなさい**」と指導。

また、『「妙法のため」「人のため」「仏勅の学会のため」に行動し、心を尽くし、朗々と唱題しゆく仏子が、不幸になるはずがない。最後には必ず、だれよりも幸福な所願満足の人生となり、「永遠の幸福境涯」を得ていくことは間違いない』と、真心の激励をいただきました。

わずか1時間弱のご滞在でしたが、目黒に絶対勝利の「師弟の魂魄」をとどめる歴史的なご訪問となりました。この意義を留めて9月15日を「**第二目黒の日**」「**目黒宝寿会の日**」と制定されています。